



# あすなる

## ASUNARO-INSTITUTION



ケアホームなかうた

### 社会福祉法人 江差福社会 運営施設一覧

**【施設入所支援・生活介護事業所】**

あすなる学園

**【就労継続支援B型・生活介護事業所】**

あすなるアクティビティセンター

従たる事業所 **【生活介護事業所】**

繁次郎

**【就労継続支援B型】**

あすなるパン

**【就労継続支援B型・生活介護事業所】**

あすなるケータリングセンター

**【就労継続支援B型・生活介護事業所】**

あすなる新地センター

**【生活介護事業所】**

あすなる地域交流センター

**【就労継続支援B型・生活介護事業所】**

あすなる日明センター

**【障害者相談支援・特定相談支援・障害児相談支援事業所】**

あすなる相談支援センター

(江差町・乙部町・厚沢部町・奥尻町指定委託事業)

**【就労継続支援A型事業所】**

バリアフリーホテルあすなる

**【就労継続支援A型事業所】**

あすなるFDセンター

**【知的障がい者グループホーム】**

はまなす荘	ケアホーム円	山
はらだハイツ	ケアホーム茂	尻
メゾンドフェミニン	ケアホーム尾	山
番重ホー ム	ケアホームた	ざ
乙部緑町寮	ケアホーム砂	川
南ヶ丘女子寮	ケアホームじ	ん
第2南ヶ丘女子寮	ケアホーム伏	木
尾山第3寮	ケアホームお	お
尾山第4寮	ケアホーム南	ヶ
松林ホー ム	第1ケアホーム本	町
村田ホー ム	第2ケアホーム本	町
みん家の	第2ケアホーム尾	山
第2ケアホーム伏木戸	ケアホームし	ん
第3ケアホーム伏木戸	ケアホームな	かうた
第2ケアホーム南ヶ丘		

**【認知症対応型共同生活介護施設】**

シルバーハウスケープ赤石  
シルバーハウス第2ケープ赤石

## 障がい者が快適に働く場の確保と生活の保障を



援護会長 中 村 彰

朝夕は幾分凌ぎやすくなりましたが、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。日頃、江差福社会運営へのご支援ご協力に対しまして関係機関・各位並びに地域の皆様に深く御礼を申し上げます。

さて、本会は平成2年4月事業開始から実に27年目を迎え、現在41施設を運営し利用者は介護保険施設の利用者も含め約400名、職員170名が働く事業所を運営するに至りました。

先般、評議委員会議・理事会議が開催され、これまでの運営状況と課題について協議、今年度の重点は、各施設間における感染症対策の強化と役員研修・職員教育の徹底、社会福祉法人の制度改正への取り組み等数点を重点課題とし施設利用者の生命と安全を守るため、役職員が一丸となって運営にあたる事が確認されました。

この春、新たに「ケアホームなかうた」の開設に続き、現在知内町での施設整備が進められている「米粉を製造する授産施設」には地域の皆さんから大きな期待が寄せられております。また缶入りパン、フリーズドライのビスケット・うるち米を使った餅などの備蓄食品の生産ラインは活況です。また昨年秋に北海道福祉まちづくり賞を受賞した「バリアフリーホテルあすなろ」は車椅子の障がい者や高齢者にも好評で、夏季観光シーズンには道内外から多く客人を迎え多忙な毎日です。

就労支援各事業所利用の皆さんは、早朝から迎いのバス等で仕事場に向かいます。表情は明るく各人の特性を生かし任された仕事に一生懸命な姿に感動します。また、共に仕事をしながら適正をよく見極め支援くださる職員の皆さんのご労苦に感謝致します。

このように障がいのある皆さんの働く場の確保と生活を保障したいという樋口理事長の思いと職員の皆さんのご努力により着実に成果を上げています。

結びになりますが、江差福社会の益々のご発展とあすなろ学園関係者並びに援護会会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。



# 「ケアホームなかうた」が開設しました



建物外観

今春5月開設となった『ケアホームなかうた』です。

前号でもお知らせしていましたが、歴まち街道の中心部に堂々の存在感となりました。

このグループホームは、男性10名で構成されています。隣接して職員夫婦が住んでおりプライベートは確保されながらも困った時にはすぐ隣に職員がいるので安心という、当法人特有のシステムとなっています。自由な暮らしを追究した当法人だからこそこのグループホームの姿がそこにあります。

そして今回のグループホーム拘りは外観だけではありませんでした。まず玄関を開けてびっくりするのが、吹き抜けの階段です。思わず「ワ〜っ」と声を出してしまうような開放感を感じる事が出来ます。一般の観光客が間違っ

て入ってきてしまう事もありますが、そんなハプニングも大切にしながらこれから地域と共生していけたらと思います。

町内会の皆様、ご理解とご協力をお願い致します。

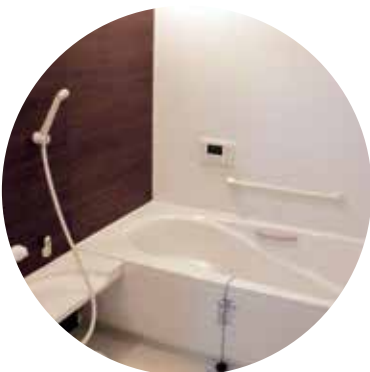


窓の向こうには江差町役場が見えますよ。



ダイニングではゲームの話で盛り上がります。

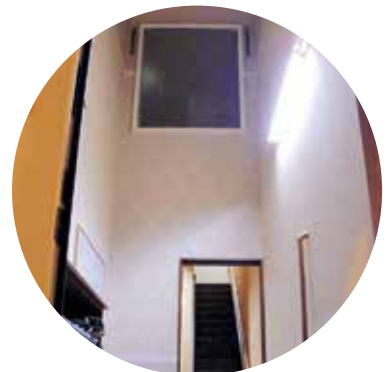
～ グループホームの夕食を一部紹介します ～



ゆったりと広い浴室



ウォシュレット対応のトイレ



わかりづらいかもしれませんが  
圧巻の吹き抜け階段

# 知内 FD センター 着工開始

当法人も開設し27年目を迎えました。昨年12月15日に開かれた知内町議会定例会の行政報告で大野町長より明らかにされましたが、2014年8月から2016年10月までの間、知内町湯の里地区に就労継続支援B型事業所を開設する事が決定する迄、計10回に渡り協議を重ねておりました。今年7月に知内町からの事業費約7億2000万円（一部機械を除く）のうち約4分の1の約1億8000万円の補助や町有地の無償貸与に関する協定を締結し、2018年4月から「知内FDセンター」の稼働を予定しております。

小麦アレルギーに対応した食品のニーズが高まっている事に着目し、小麦の代替原料となる米粉を知内町産の道南ブランド米「ふっくりんこ」を原料に製造し、当法人災害備蓄用品「備え餅」の原料として供給するほか、フリーズドライ製品の製造、微粒子状のコアパウダー製造ラインも整備する計画です。また、知内町特産（道内で生産量1位）であるニラの残査にも着目。廃棄

## 知内に製粉工場

障害者施設運営「江差福祉会」18年度に

### B型「4町の就労支援拠点」

【知内】「あすなるパン」など江差町で障害者施設を運営する社会福祉法人「江差福祉会」（樋口英俊理事長）は、2018年度に知内町内に授産施設の製粉工場とケアホーム（共同生活援助事業所）を新たに開設する。15日に開かれた町議会定例会の行政報告で大野町長が明らかにした。（鈴木 潤）

町は授産施設の誘致に向け、契約を結ばないで働く場所とした食品工場の高まりを受け、14年8月から今年10月を提供する就労継続支援B型、小麦の代替原料となるまでの間、同法人と10回に、製粉の製造を中心とする事業展開を協議を重ねてきた。開設する。小麥アレルギーに対応し「ブランド米」ふっくりんこに

原料に米粉を製造するほか、微粒子のコアパウダーの製造ラインも整備する計画。町特産のニラの残査を利用した製粉や、地元農家と協力し、休耕田でのホワイトソルガム（ネコ白高きびの一種）の栽培も検討する。利用者の定数は30人を予定。一方、ホームは1棟10人、定員の建物を3棟建設する計画で、建設地は調整中としている。

平成28年12月16日  
函館新聞より

## 授産施設「知内FDセンター」8月着工



### 障害者30人雇用 渡島西部の核に

【知内】来年4月稼働させる江差福祉会（江差町、樋口英俊理事長）の授産施設「知内FD（フリーズドライ）センター」（仮称）は、知内町湯ノ里が、8月に着工する。同会は知的障害者30人を雇用し、渡島西部4町の核となる施設にしたい考え。町産米を仕入れて米粉を製粉し、フリーズドライ製品に加工する計画だ。場所は旧湯ノ里小跡地を含む町有地約1万平方尺。

町産米をフリーズドライ加工

護室が設けられるほか、敷地内に入所者や支援を行う職員が暮らすケアホーム3棟が建てられる。実家に近い場所でも生活しながら働けるよう、町や近隣出身の障害者を受け入れる。町から江差福祉会に派遣されている知内FDセンター開設準備室の松崎輝幸室長は「障害者が住み慣れた地元で働けるよう、環境をつくっていききたい」と話している。

平成29年6月3日  
北海道新聞より

されるものを活用し新たな製品へと生まれ変わるとなれば付加価値は高いとしています。他にも地元農家と協力し、休耕田でのホワイトソルガム（イネ科白高きびの一種）の栽培も検討しており期待は膨らみます。

施設の定員は30名を予定、グループホームは1棟10名定員で3棟建築を予定。当法人利用者のうち知内町など渡島西部4町（木古内、福島、知内、松前）出身者は42名程おり、実家に近い場所で生活しながら働ける場所をつくり、「働く技術を持った障害者が出身地に戻り自立できる仕組み」を作り上げる事を目的とし、近隣出身者の受け入れも行って行く予定です。

### 知内のB型事業所 江差福祉会あす着工

#### 来年4月操業目指す



【知内】江差福祉会（仮）江差福祉会 施設建設が予定する「備え餅」と、知内の施設で製造を計画している製品のサンプルを開示する樋口理事長

【知内】江差福祉会（仮）江差福祉会 施設建設が予定する「備え餅」と、知内の施設で製造を計画している製品のサンプルを開示する樋口理事長

【知内】江差福祉会（仮）江差福祉会 施設建設が予定する「備え餅」と、知内の施設で製造を計画している製品のサンプルを開示する樋口理事長

【知内】江差福祉会（仮）江差福祉会 施設建設が予定する「備え餅」と、知内の施設で製造を計画している製品のサンプルを開示する樋口理事長

【知内】江差福祉会（仮）江差福祉会 施設建設が予定する「備え餅」と、知内の施設で製造を計画している製品のサンプルを開示する樋口理事長

【知内】江差福祉会（仮）江差福祉会 施設建設が予定する「備え餅」と、知内の施設で製造を計画している製品のサンプルを開示する樋口理事長

## 障害者雇用拠点に期待

【知内】江差福祉会（仮）江差福祉会 施設建設が予定する「備え餅」と、知内の施設で製造を計画している製品のサンプルを開示する樋口理事長

【知内】江差福祉会（仮）江差福祉会 施設建設が予定する「備え餅」と、知内の施設で製造を計画している製品のサンプルを開示する樋口理事長

【知内】江差福祉会（仮）江差福祉会 施設建設が予定する「備え餅」と、知内の施設で製造を計画している製品のサンプルを開示する樋口理事長

### 特産品生かし備蓄食製造

【知内】江差福祉会（仮）江差福祉会 施設建設が予定する「備え餅」と、知内の施設で製造を計画している製品のサンプルを開示する樋口理事長

【知内】江差福祉会（仮）江差福祉会 施設建設が予定する「備え餅」と、知内の施設で製造を計画している製品のサンプルを開示する樋口理事長

【知内】江差福祉会（仮）江差福祉会 施設建設が予定する「備え餅」と、知内の施設で製造を計画している製品のサンプルを開示する樋口理事長

平成29年8月31日 函館新聞より

## 地鎮祭も無事終了しました

【平成29年9月1日】

残暑が残る秋晴れの中、建築工事の安全祈願の『地鎮祭』が無事に終了しました。ご協力下さった知内町の皆様に深く感謝申し上げます。



### 知内の授産施設着工

江差福祉会がFDセンター



【知内】江差福祉会（仮）江差福祉会 施設建設が予定する「備え餅」と、知内の施設で製造を計画している製品のサンプルを開示する樋口理事長

平成29年9月5日 北海道新聞 夕刊より

# 行事紹介 ～遊んで学ぶ!!!～



2017.3.7  
地域外食会 (麺屋亭)



2017.3.18～3.19  
札幌社会見学旅行



2017.3.7  
地域外食会 (追分館)



2017.4.10  
BFH宿泊行事



2017.6.16  
林家とんでん平落語会



2017.7.10～7.11  
札幌社会見学旅行



2017.6.11  
法人大運動会・打ち上げ



2017.7.1  
かもめ島まつり千人パレード



## フィンランドカーリシルタ 国際交流

カーリシルタ  
8月3日フィンランドkaarisiltaとの交流で来日していた音楽教師のリフ・マーリットさんから学んだ成果と帰国されるマーリットさんの「さよならパーティー」と題して音楽発表会をバリアフリーホテルあすなろで行いました。  
50名の観客の前で2週間に渡る練習の成果を披露しました。

### 第1回 バリアフリーコンサート

日付 2017年8月3日 (休)

時間 15:00～

ピアノ奏者 リフ・マーリット  
「KAARISILTA RY」

司会進行 木村大樹 由利隆昌

### 次第

1. 開会の挨拶 樋口理事長  
リフ・マーリット
2. 子供音楽グループ 合唱  
「ドレミの歌」
3. 中村 ひなのちゃん  
「戦場のメリークリスマス」
4. 蛸名 諒 ピアノ  
「kesapaiva kangasalla」 カンガスアツラの夏の日  
「avaruus」 宇宙  
「a vast ocean of the evening sun」 広い海の夕日
5. ダンスグループ  
「KEHRUUVALASSI」 ケフルーヴァッシ  
「CICAPO」 キカポ
6. コーラスグループ  
さくら 森山 直太朗  
ハナミズキ 一青窈  
糸 中島 みゆき
7. 樋口英俊&リフ・マーリット&蛸名 諒 演奏  
「LAPIN POIKA」 ラップランドの少年

# フィンランド研修報告

日程～平成29年6月19日～平成29年6月24日

## BIENNALE2016出展者・作品

- |        |    |        |       |
|--------|----|--------|-------|
| ・坂本 正  | 絵画 | ・柗田 眞子 | 絵画    |
| ・手塚 実伽 | 書  | ・荒木真由美 | 絵画    |
| ・永澤 弘也 | 絵画 | ・小野 一成 | 刺し子布巾 |
| ・高橋 洋  | 絵画 |        |       |

今回の研修は、カーリシルタで開催されるBIENNALE2016への参加とフィギュアノートが開発されたレソナリー音楽学校の視察をさせていただきました。

カーリシルタで開催されているBIENNALE（芸術祭）は、昨年度も新地センターの利用者の作品を出展しており、当法人も積極的に参加している芸術祭です。

BIENNALE開催にあたっては、カーリシルタの芸術教師の方々が出展される作品に見合った場所や背景を考え、2ヶ月という時間を費やし開催の準備をされていました。

展示されている作品は全部で300点余り。イタリア、ドイツ、インドネシアなどからも出展されており、国際交流も盛んに行われています。作品には値段がつけられており、有名な芸術家（障害を持ちながら芸術家になった方々）の作品になると高額な値段がつけられていました。

私は芸術の知識もなく無関心でありましたが、展示されている作品からは個性が伝わり、国の違いも見受けられたように感じました。又、芸術を生業に生活をしている利用者が沢山いる事に文化の違いを感じました。

フィギュアノートを開発したカールロ・ウシタロウ氏とマルック・カイッコネン氏がレソナリー音楽学校に在籍しており、レソナリーから実際にプロとして活動をしているバンドメンバーもいます。バンドメンバーのドキュメンタリー映画も制作され、日本では山形国際ドキュメンタリー映画祭にて市民賞を受賞しています。

当法人でもフィギュアノートを使用した音楽療法を行っており、2003年2月に日本市場におけるプロモート権を契約・取得し2003年12月特許庁より商標登録の認定を受けており、2006年3月には、日本語版フィギュアノートを出版しています。

今回の研修BIENNALE参加、レソナリー音楽学校視察を通して、改めてフィンランドの社会保障制度が充実している事に気づかされました。日本では、芸術活動、音楽療法を行う事に対しても、全てに於いて経費や自費で準備しなければならない等、経済的な部分でのバリアがあります。そのような中で利用者にとって充実した活動や利用者個々が興味を持った事に取り組むことができるよう、今後も法人の理念である「三本の柱」を念頭に置き、利用者により良いサービスが提供できるよう業務に従事していきたいと思っております。

今回の研修に参加させて頂き、ありがとうございました。

あすなろ学園 辻

# 江差福祉会よりお知らせ



## 北海道初のタラソテラピー泉（海水入浴法）

タラソテラピーは、海の生命の揺りかごといわれ、海水の成分は羊水とほぼ同じといわれています。タラソテラピーは体温に近い35℃前後の温めた海水を利用するため、身体にやわらかく、温めた感触があります。日本海の海の資源を用いて健康のバランスを整え、身体の機能を高めます。

どうぞ当館おすすめのとらソテラピー泉をお試し頂き、海の癒しを実感してください。

- 男子6種類、女子7種類の浴槽完備  
フィンランドサウナ（サウナ用バスタオル完備）  
※ バスタオル・フェイスタオル貸出 200円

- 車椅子で全移動可能

入浴時間：午後3時から午後8時まで  
全浴室

入浴料：大人 800円（中学生以上）  
小学生 400円  
幼稚園以下 無料

- フェイシャルエステ 40分 3000円（要予約）



## 編集後記



北海道の短い夏も終わり、一気に秋の気配を感じる今日この頃ですが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。季節の移り変わりの早さとともに1年が過ぎる早さを実感しております。年末の法人行事になっている法人謹製おせちを無事に作り終え、ほっとしたのも束の間で8月を過ぎた頃からは、既に今年のおせちの事で頭がいっぱいの自分にふと気が付きました。自分の話になってしまいますが、以前は大嫌いだった読書が好きになり、夜に読書をするのが安らぎになり楽しみになっています。最近読んだ本の中にこんな言葉がありました。『明日死ぬとしても今日の花に水をあげなさい。』今日というこの時間の使い方が5年先の未来に影響する事を改めて感じました。がむしゃらに今日を乗り越える1日の使い方より広い視野を持って1日を使える人間でありたいと思います。

最後に宣伝になってしまいますが、あすなるケータリングセンターでは【去年より良い物を！！】をスローガンにして利用者・職員が一丸となっておせち製造に向けて取り組んでいきますので、ご協力をよろしくお願い致します。

あすなるケータリングセンター 野崎

## お便り「あすなろ」 第49号

発行人 社会福祉法人江差福祉会 あすなろ学園  
住 所 〒043-0023  
北海道檜山郡江差町字田沢町542-3  
電 話 0139-52-5577  
FAX 0139-52-3187  
H P www.asu-inst.server-shared.com/